

日本スポーツマスターズ2022サッカー競技中国予選会
参加チーム新型コロナウイルス感染症防止対策等の留意事項

※ 関係様式等は、必要に応じて山口県サッカー協会HPからダウンロードしてください。

- 1 「(一社)山口県サッカー協会第1種委員会<社会人>におけるサッカー活動の再開に向けたガイドライン」を遵守すること。
- 2 選手及びチーム役員は、「個人健康チェックシート(様式2-①)」を記入し、試合当日にチーム代表者(感染対策責任者)に提出すること。
 - ・ 大会(試合)前2週間前から当日までの体温(「個人健康チェックシート様式2-①」に記載)
 - ・ 大会(試合)前2週間における健康状態(チェック項目①~⑨)
 - ※ ガイドラインは前1週間となっているが、本大会は前2週間に変更
 - ・ チーム代表者(感染対策責任者)は、主催者等の要請に応じていつでも提出できるよう、個人情報に留意し同シートを1ヶ月間程度保管し、この間において感染等がなかったことを確認後、個人情報に留意の上、同シートを廃棄
- 3 チーム代表者(感染対策責任者)は、上記2・「個人健康チェックシート(様式2-①)」で、参加する選手及び役員の健康状態を確認し、「チーム健康チェックリスト(様式1)」を作成し、各日の初戦開始1時間前までに大会運営本部に提出すること。
- 4 チーム代表者(感染対策責任者)は、選手及びチーム役員等に感染の有無等について適宜確認するとともに、感染があった場合の速やかな連絡について指示すること。
- 5 チーム代表者(感染対策責任者)は、試合終了後2週間以内に選手及びチーム役員に感染が確認された場合、(一社)山口県サッカー協会第1種<社会人>委員会委員長・末永和文(山口県社会人感染対策責任者)に遅滞なく連絡すること。
 - ※ 山口県社会人感染対策責任者(末永)携帯番号:090-1017-7165
- 6 参加チーム用新型コロナウイルス対応チェックリスト(様式4)については、その必要性、競技会やチームの状況等も踏まえ、最大限活用し、感染防止策に役立てるものとする。
(当該リストについては山口県社会人感染対策責任者への提出義務はないが、高い意識を持ち積極的な活用を図ること。)
- 7 試合当日の試合運営エリア入場(防球ネット内)は、各チームの選手及び役員のみとすること。
また、試合終了後は、直ちに退場すること。
- 8 参加チームは、感染症対策の観点から以下の携行品を準備し、必要に応じて使用すること。
 - ・ アルコール消毒液(手指用及びベンチ使用物品用)
 - ・ 体温計
 - ・ マスク(運動時以外のマスクの着用)

9 大会・試合運営に係る留意事項

- ロッカールームの使用は禁止する。
- 試合に携わる全ての者（チーム選手・役員、審判員、運営役員等）は、前半開始前、前半終了後、後半開始前、後半終了後に手指消毒を行う。
- 原則として、WBGTの数値に関係なく飲水タイムを設ける。ただし、WBGTの数値が基準未満であって、両チームが飲水タイムを設けないことについて、試合開始前あるいはハーフタイム時に合意した場合にあってはこの限りではない。
- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- ピッチ上で密集密接（手をつなぐ、肩を組む）となる円陣を組むことは行わない。
- 倒れた選手に手を貸さない。
- 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- 口に含んだ水を吐かない。
- ボトルを共有しない。
- 水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- タオルやビブス等を共有しない。
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。
- ベンチではマスクを着用し、会話を控える。
- ベンチでの選手間の距離を保つこと。
- ベンチ退出時には、使用した椅子及びテント柱を持参したアルコール消毒液で拭く。

10 チームサポーター（観戦者）については、各チームの管理とすることから、別添「日本スポーツマスターズ2022サッカー競技中国予選会に係る観戦及び取材についてのお願い」の内容について事前に周知すること。